

人と動物の共生およびSDGs推進シンポジウム 2024
「ペットとの暮らしを活用する豊かな社会 –それを可能にする環境整備–」
開催のお知らせ

公益社団法人 Knots では、下記の通り『人と動物の共生およびSDGs推進シンポジウム 2024 「ペットとの暮らしを活用する豊かな社会 –それを可能にする環境整備–」』を開催致します。

第一部の講演では、神戸市出身の谷口優先生の認知症発症リスクや医療費および介護費に与えるペットの影響など、最新の研究成果をお話しいたします。

また、事例発表では、居場所として高齢者施設とペットツーリズムを取り上げます。高齢者施設でペットと暮らすことは、飼い主本人だけでなく、職員にも好影響をもたらすことが示されています。

ペットツーリズムの推進は、「高齢者が安心して犬とお出掛けしやすくなる仕組みづくり」になり、その地域の方にも活用され、「健康で楽しく温かい街づくり」としても機能します。

貴媒体での告知および開催当日の取材をお願い申し上げます。

【企画概要】

主催：公益社団法人 Knots

日時：2024年10月27日（日）13：00～16：00 場所：神戸ポートピアホテル 入場料：無料

「人もペットもずっと一緒に幸せに暮らせる街」

「ペットを飼っている人の介護費は、飼っていない人の約半分に抑制」

「犬を飼っている人は、非飼育者に比べて認知症発症のリスクが40%低い」

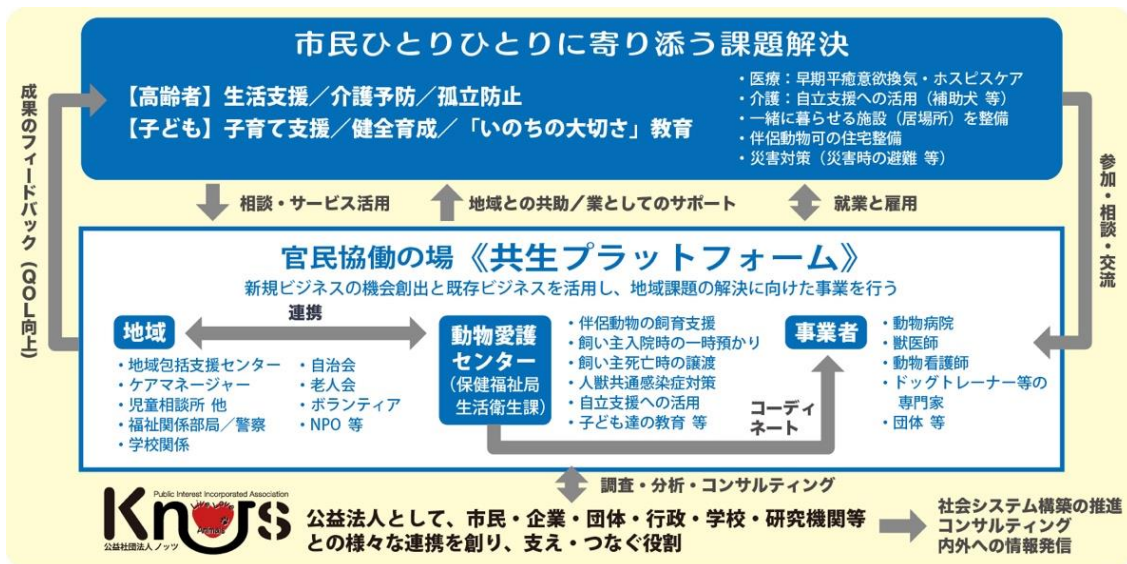
東京都健康長寿医療センターの研究発表（2023年）



「高齢者とペット」の双方が幸せに人生を全うしていく社会の構築が日本に新たな価値をもたらし、
温かな未来のビジョンを創る

関連する事業におけるイノベーションや新たな事業創出の可能性

《ペットとの共生プラットフォームの概念》



「ペットとの共生プラットフォーム」という社会システムを通じて、
地域の課題解決やコミュニティの再構築、災害時における情報共有などにも貢献

【プログラム】

《はじめに》主催者趣旨説明

《第1部》講演「動物が人にもたらす健康効果」 講師：谷口 優 先生

《第2部》人とペットが幸せに暮らせる環境整備をどのように行うか？

事例発表 ①「高齢者とペットの居場所事例調査」(川口 雅裕 氏/公益社団法人 Knots)

事例発表 ②「ペットツーリズムの推進」(中西 理香子 氏)

事例発表 ③「IT が可能にする飼い主と地域を繋ぐ環境整備 -Wan!Pass の取り組み事例から-」
(小早川 斉 氏)

質疑応答

【登壇者のご紹介】

- **谷口 優 先生 (国立研究開発法人 国立環境研究所 主任研究員/地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 協力研究員)**
「ペット飼育と社会保障費との関連性」に関する研究論文「Pet Ownership-Related Differences in Medial and Long-Term Care Costs among Community-Dwelling Older Japanese」(和訳：地域在住高齢者におけるペット飼育者・非飼育者の医療費及び介護費の差異について)を米国科学誌「PLOS ONE (プロス ワン)」に発表(2023年1月)。
「ペット飼育と認知症発症リスク」に関する研究論文「Protective effects of dog ownership against the onset of disabling dementia in older community-dwelling Japanese : a longitudinal study」(和訳：地域在住日本人高齢者における犬の飼育の認知症予防効果)を科学誌「Preventive Medicine Reports」に発表(2023年10月)。
2024年8月、Public Library of Science 社が刊行する学術誌『PLOS ONE』に、「伴侶動物との生活と死亡リスク 猫、鳥、魚ではなく犬との生活が死亡リスクを抑制」が発表された。
- **川口 雅裕 氏 (NPO 法人「老いの工学研究所」理事長/一般社団法人「人と組織の活性化研究会」理事)**
1964年生まれ。京都大学教育学部卒。株式会社リクルートコスモス(現コスモスイニシア)で、組織人事および広報を担当。退社後、組織人事コンサルタントを経て、2010年より高齢社会に関する研究活動を開始。約1万9千名に上る会員を持つ「老いの工学研究所」でアンケート調査やインタビューなどのフィールドワークを実施。高齢期の暮らしに関する講演のほか、さまざまなメディアで連載・寄稿を行っている。
- **中西 理香子 氏 (一般財団法人 神戸観光局 専務理事)**
神戸市役所採用後、観光行政を中心に、港湾や広報等の分野でキャリアを重ね、令和2年4月より灘区長として2年間従事。その後、令和4年4月より一般財団法人神戸観光局専務理事に着任。
一昨年より神戸観光局において「ペットと旅する KOBE」事業を立ち上げ、ペット連れでの来神者に対する情報発信とマナー啓発を実施し、神戸のペットツーリズムを推進している。
- **小早川 斉 氏 (ペッツオーライ株式会社 代表取締役)**
株式会社リクルートの新規事業コンテストでグランプリを獲得しペットの「病気」「しつけ」「フード」など、24時間いつでもアプリから専門家に相談できるサービス「ペッツオーライ PET'S ALL RIGHT」を事業化。その後、事業成長を目的にリクルートからエグジットし、ペッツオーライ株式会社を設立。代表取締役に就任。
2022年に、犬同伴可の施設・店舗を検索することができ、狂犬病や混合ワクチンの接種証明書をデジタル化し施設や店舗利用時にデータでの証明書のやり取りが可能となるアプリ「Wan!Pass (ワンパス)」をリリース。
また、ドッグトレーナーが犬のしつけ習得レベルを認定する「Wan!Pass 認定」を開発し、ペット入店可能な各店舗が入店条件にしつけレベルを設定でき、入店時にアプリを使い入店資格を証明できる取り組みをスタートさせた。
Wan!Pass では一般社団法人軽井沢観光協会やその他自治体や観光協会と協業し、ドッグツーリズムや地方創生の新たな可能性の開拓に挑戦している。

【人と動物の共生および SDGs 推進シンポジウム 2024 専用サイト】

参考資料《人とペットの共生 -阪神・淡路大震災 30年の振り返りと現況-》も掲載されていますので、ご参照ください。 https://knots.or.jp/2024/01/symposiun2024_241027/



取材に関するお問合せ先 公益社団法人 Knots 事務局 担当：鈴木 (事務局長)
〒650-0032 兵庫県神戸市中央区伊藤町 110-2 神戸ポートビル旧居留地 7F-11
TEL : 050-3702-8058 E-mail : info@knots.or.jp FAX : 050-3730-0738 (国内専用)
ウェブサイト : <https://knots.or.jp/>



人と動物の共生およびSDGs推進シンポジウム 2024

「ペットとの暮らしを活用する豊かな社会 —それを可能にする環境整備—」

2024年

10月27日 日

13:00 ~ 16:00 (開場 12:30)

会場 神戸ポートピアホテル

偕楽の間 (地下1階) 神戸市中央区港島中町6丁目10-1

参加費無料

事前登録をお願いします



シンポジウムへのご参加は無料ですが、事前登録制となっております。QRコードからシンポジウム専用ページにアクセスしていただき、ページ内のフォームから登録をお願いいたします。

2023年に、東京都健康長寿医療センターから「ペットを飼っている人の介護費は、飼っていない人の約半分に抑制」「犬を飼っている人は、非飼育者に比べて認知症発症のリスクが40%低い」という研究発表がリリースされました。

15歳未満の子どもよりペットが多く、単身世帯が38%で、2040年には65歳以上が人口の34.5%と推計される日本では、「高齢者とペット」の双方が幸せに人生を全うしていく社会の構築がこの国に新たな価値をもたらす可能性があります。

また、ビジョンが明確になれば、関連する事業におけるイノベーションや新たな事業の創出も起こり易くなり、未来に小さな明るい火が灯ります。

例えば、当法人では「ペットとの共生プラットフォーム」という社会システムを通じて、地域の課題解決やコミュニティの再構築の他、災害時における情報共有にも貢献できると提案しています。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会のひとつのモデルとして、「人もペットもずっと一緒に幸せに暮らせる街」を実現する方策を皆さんと考えたいと思います。

主催 公益社団法人 Knots

助成 公益財団法人中内力コンベンション振興財団

特別協賛 マスターズライフ株式会社 神戸ジェームス山 中樂坊

協賛 株式会社ピーアンドピー浜松 / 株式会社福祉開発研究所 / 株式会社ティエスコポーレーション / 株式会社商船三井さんふらわあ / 株式会社ラ・ショエット

協力 NPO 法人老いの工学研究所 / 新日本カレンダー(株) ペピイグループ ペピイ・ハッピープレイス TAMATSUKURI

後援 環境省 / 兵庫県 / 神戸市 / 一般財団法人神戸観光局 / 公益社団法人日本医師会 / 一般社団法人神戸市医師会 / 公益社団法人日本動物病院協会 / 公益社団法人日本獣医師会 / 一般社団法人兵庫県獣医師会 / 公益社団法人神戸市獣医師会 / 公益財団法人日本動物愛護協会 / 公益社団法人日本愛玩動物協会 / 公益社団法人日本動物福祉協会 / 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 / 公益社団法人全国有料老人ホーム協会 / 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 / 一般社団法人シルバーサービス振興会 / 一般社団法人全国旅行業協会 / 一般社団法人日本旅行業協会 / 兵庫県弁護士会 / 神戸商工会議所 / 多可町商工会 / 株式会社高齢者住宅新聞社

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

告知協力 神戸北の坂ホテル / ホテルプラザ神戸 / 六甲山アスレチックパーク GREENIA / 宮崎カーフェリー株式会社 / FARM CIRCUS / 阪九フェリー株式会社



アクア (神) Akua (God)



プカ・コモ (扉) puka komo (Door)



ハウオリ (幸せ) Hau'oli (Happiness)



マハロ (感謝) mahalo (Appreciation)



クレアナ (責任) kule'ana (Responsibility)

SDGs推進事業のキャラクターたち

「アクア (神)」と「プカ・コモ (扉)」は、ハワイ語で「神の扉—神戸」という意味です。

「マハロ (感謝)」「ハウオリ (幸せ)」「クレアナ (責任)」が、「One World, One Life—ひとつの豊かな地球は、ひとつひとつのいのちの幸せを繋いでいくことで構築されていく—」の実現に大切な、「お互いの存在に感謝し、生ある限りは幸せであることが、「いのち」に対する責任である」というメッセージを伝えています。

【SDGs推進事業のキャラクター LINE スタンプ】を使って、SDGs推進の会議の応援よろしくお願ひします！



【プログラム】

《はじめに》主催者趣旨説明

《第1部》

講演「動物が人にもたらす健康効果」

講師：谷口優先生（国立研究開発法人国立環境研究所主任研究員／地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター協力研究員）

《第2部》

人とペットが幸せに暮らせる環境整備をどのように行うか？

事例発表①「高齢者とペットの居場所事例調査」（NPO 法人老いの工学研究所／公益社団法人 Knots）

事例発表②「ペットツーリズムの推進」（一般財団法人神戸観光局 専務理事 中西 理香子 氏）

事例発表③「IT が可能にする飼い主と地域を繋ぐ環境整備 -Wan!Pass の取り組み事例から-」（ペットオーライ株式会社 代表取締役 小早川 斉 氏）

質疑応答

【講師プロフィール】



谷口 優 先生

国立研究開発法人国立環境研究所主任研究員／地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター協力研究員／東京大学客員研究員／メルボルン大学客員研究員／兵庫県神戸市出身

同センター社会参加と地域保健研究チームの「ペット飼育と社会保障費との関連性」に関する研究論文「Pet Ownership-Related Differences in Medial and Long-Term Care Costs among Community-Dwelling Older Japanese」（和訳：地域在住高齢者におけるペット飼育者・非飼育者の医療費及び介護費の差異について）を米国科学誌「PLOS ONE（プロスワン）」に発表（2023年1月）。

同センター社会参加とヘルシーエイジング研究チームの「ペット飼育と認知症発症リスク」に関する研究論文「Protective effects of dog ownership against the onset of disabling dementia in older community-dwelling Japanese: a longitudinal study」（和訳：地域在住日本人高齢者における犬の飼育の認知症予防効果）を科学誌「Preventive Medicine Reports」に発表（2023年10月）。

《受賞歴》

2011年 The Gerontological Society of America. Health Science person-in-training award / 2016年 日本老年医学会優秀論文賞 / 2018年 日本公衆衛生学会総会優秀口演賞 / 2018年 長寿科学賞 / 2020年 Geriatrics & Gerontology International Best Article / 2024年 日本老年医学会 Young Investigator Award



川口 雅裕 氏

NPO 法人「老いの工学研究所」理事長（高齢社会の研究者）／一般社団法人「人と組織の活性化研究会」理事（組織人事研究者）／コラムニスト

1964年生まれ。京都大学教育学部卒。株式会社リクルートコスモス（現コスモスイニシア）で、組織人事および広報を担当。退社後、組織人事コンサルタントを経て、2010年より高齢社会に関する研究活動を開始。約1万9千名に上る会員を持つ「老いの工学研究所」でアンケート調査やインタビューなどのフィールドワークを実施。

高齢期の暮らしに関する講演のほか、さまざまなメディアで連載・寄稿を行っている。

著書に、『なが生きしたけりゃ居場所が9割』（みらいパブリッシング）、『年寄り集まって住め～幸福長寿の新・方程式』（幻冬舎）、『だから社員が育たない』（労働調査会）、『速習！看護管理者のためのフレームワーク思考53課』（メディカ出版）などがある。



中西 理香子 氏

神戸市役所採用後、観光行政を中心に、港湾や広報等の分野でキャリアを重ね、令和2年4月より灘区長として2年間従事。その後、令和4年4月より一般財団法人神戸観光局専務理事に着任。

一昨年より神戸観光局において「ペットと旅する KOBE」事業を立ち上げ、ペット連れでの来神者に対する情報発信とマナー啓発を実施し、神戸のペットツーリズムを推進している。



小早川 斉 氏

ペットオーライ株式会社代表取締役／公益社団法人 Knots 正会員

株式会社リクルートの新規事業コンテストでグランプリを獲得し、ペットの「病気」「しつけ」「フード」など、24時間いつでもアプリから専門家に相談できるサービス

「ペットオーライ PET'S ALL RIGHT」を事業化。その後、事業成長を目的にリクルートからエグジットし、ペットオーライ株式会社を設立。代表取締役に就任。

2022年に、犬同伴可の施設・店舗を検索することができ、狂犬病や混合ワクチンの接種証明書をデジタル化し施設や店舗利用時にデータでの証明書野取りが可能となるアプリ「Wan!Pass（ワンパス）」をリリース。

また、ドッグトレーナーが犬のしつけ習得レベルを認定する「Wan!Pass 認定」を開発し、ペット入店可能な各店舗が入店条件にしつけレベルを設定でき、入店時にアプリを使い入店資格を証明できる取り組みをスタートさせた。

Wan!Passでは一般社団法人軽井沢観光協会やその他自治体や観光協会と協業し、ドッグツーリズムや地方創生の新たな可能性の開拓に挑戦している。

【お問い合わせ先】 公益社団法人 Knots

〒650-0032 兵庫県神戸市中央区伊藤町 110-2 神戸ポートビル旧居留地 7F-11

Tel: 050-3702-8058（月～金 9:00～17:00） Mail: info@knots.or.jp



介護経営者向け情報紙

在宅から施設、周辺産業まで

週刊 高齢者住宅新聞

Elderly Press Newspaper

2024年(令和6年)

9月18日

第772号 毎週水曜日発行

発行人 網谷敏政
年間購読料 23,100円 (送料込・税込)

(株)高齢者住宅新聞社
〒104-0061
東京都中央区銀座8-12-15
☎03-3543-6852(編集部)



TOPICS

ニュース 2面

人手不足緩和策 賃金・福祉機器で効果

介護BIZ 3~7面

Knots
ペット飼育、シニアも気軽に

(株) 高齢者住宅新聞社様より取材を受け、掲載いただきました。



笑顔と楽しさの溢れる「誰一人取り残さない」 持続可能で多様性と包摂性のある 社会の実現に貢献します

《Knotsの事業理念》

公益社団法人 Knots は人と動物の共生及び SDGs を推進し、人も含めたすべての動物がより大きな喜びを感じながら、幸せに暮らせる社会の実現を目指しています。共生という言葉には、「お互いの存在に感謝し、一緒に幸せに暮らしていこう」という願いが込められています。

人と人、人と動物、動物と動物の間にはそれぞれ関係性があり、影響し合っています。その「関係性を正しく理解し、お互いがお互いを尊重し、バランス良く生きること」、それぞれの「いのちが調和すること」が幸せに繋がるのではないかと考え、国内外の企業や団体、自治体、専門家などと幅広く連携をし、人と動物のより良い共生及び SDGs を推進し、「ヒトも生き物である」という視点を活かした、啓発・教育・研究等の事業展開を行っています。

団体名の「Knots=結び目」の示す通り、市民・企業・団体・行政・学校・研究機関等と様々な連携を創り、笑顔と楽しさの溢れる「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に貢献したいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

論文「伴侶動物との暮らし」を活用した 「高齢者が幸せに暮らせる社会システム」の提案

記事内容についての論文です。2024年10月27日(日)に神戸ポートピアホテルで開催するシンポジウム「ペットとの暮らしを活用する豊かな社会—それを可能にする環境整備—」では、この先にある具体的な取組みについて考えていきます。

【事業に関するお問い合わせは、公益社団法人 Knots 事務局まで】

〒650-0032 兵庫県神戸市中央区伊藤町110-2
神戸ポートビル旧居留地7F-11
TEL: 050-3702-8058 (月~金 9:00~17:00)
FAX: 050-3730-0738



トの飼育については、富永 賃貸住宅については、ある住宅情報サイトに掲載されているペット飼育可能な物件は全体の2割に満たない状況です。シニア向け分譲マンションやサ高住など高齢者向け住まいでは一部、ペット飼育可とする動きが広がっているようです。

「ペットは高齢者の暮らしにどのような影響を与えるでしょうか」と富永 15年にNPO法人動物愛護社会推進協会が実施したペットの飼育主を対象としたアンケートでは、「生活に満足している」とする飼育主が全年齢層で見ると26.7%であるのに対し、60代以上では35.4%でした。

23年には東京都健康長寿医療センターが「ペットを飼っている人の介護費は飼っていない人の約半分は抑制され」と発表しています。

「高齢者のペットとの暮らしを支える仕組み構築についても教えてください」

富永 犬の引き取り理由として大きな割合を占めるのが「飼育主の死亡・病気」「高齢者施設入所」です。逆にいえば、「飼育主に何かあった時のペットの行き先、安全な居住を保障できるシステムがあればいい」と考えています。

介護BIZ

ペット飼育、シニアも気軽に

地域連携で引き取り先保証

公益社団法人Knots(神戸市)は、動物と人間の共生、ペットとの暮らしを組み込んだ社会システムの構築などをテーマに啓発活動を行ってきた。同法人は、ペットが高齢者に幸福感をもたらすとして、高齢になってからもペットと暮らし続けられる支援体制を提案する。富永佳与子理事長にインタビューした。

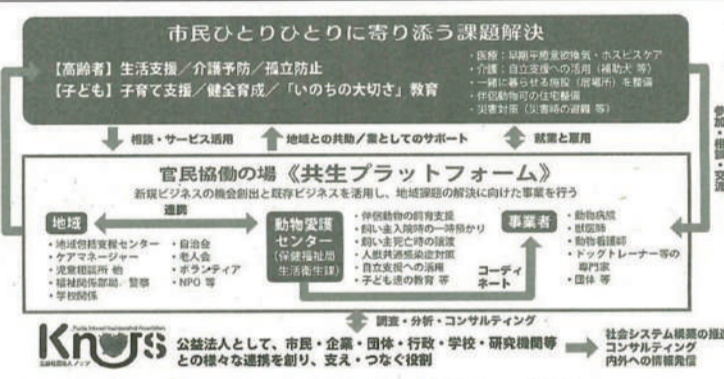


富永佳与子 理事長

法人の始まりは、995年の阪神・淡路大震災をきっかけに組織されたもので、震災時に救済し譲渡した犬猫のその後について調査を行ったのが始まりです。そこから「人間と動物の共生」をテーマに、一般市民、行政、関連団体、企業、学校などに向け啓発イベント

織されたもので、震災時に救済し譲渡した犬猫のその後について調査を行ったのが始まりです。そこから「人間と動物の共生」をテーマに、一般市民、行政、関連団体、企業、学校などに向け啓発イベントを行うようになりました。

まな切り口から啓発活動を行っています。時「ペットは家族の一頭」



▲共生プラットフォームのスキーム図(公益社団法人Knots提供)

流に合わせ、その都度動物と人間との関係性を探り、活動を広げてきました。

「ペットに係る産業についても教えてください」

富永 阪神淡路大震災以降、2000年初頭のペットの飼育頭数は約1600万頭。08年のピーク時の約2400万頭からは減少していますが、矢野経済研究所によると、22年時点の見込みでペットに関連する産業の市場規模は約1兆8000億円とされています。

「集合住宅でのペットの飼育については、富永 賃貸住宅については、ある住宅情報サイトに掲載されているペット飼育可能な物件は全体の2割に満たない状況です。シニア向け分譲マンションやサ高住など高齢者向け住まいでは一部、ペット飼育可とする動きが広がっているようです。」

「ペットは高齢者の暮らしにどのような影響を与えるでしょうか」と富永 15年にNPO法人動物愛護社会推進協会が実施したペットの飼育主を対象としたアンケートでは、「生活に満足している」とする飼育主が全年齢層で見ると26.7%であるのに対し、60代以上では35.4%でした。

23年には東京都健康長寿医療センターが「ペットを飼っている人の介護費は飼っていない人の約半分は抑制され」と発表しています。

「高齢者のペットとの暮らしを支える仕組み構築についても教えてください」

富永 犬の引き取り理由として大きな割合を占めるのが「飼育主の死亡・病気」「高齢者施設入所」です。逆にいえば、「飼育主に何かあった時のペットの行き先、安全な居住を保障できるシステムがあればいい」と考えています。